

# 2019年 教職員・運転手紹介

1. 干支・誕生日
2. 生い立ち・家族構成
3. 今年度の抱負
4. 最近感動した出来事（書籍・絵本・映画等）

## 理事長 木村好成



1. 申年 10月2日生まれ
2. 東京深川に生まれ、小学校2年生の5月に中国河北省天津市へ。  
中学1年生の8月15日に敗戦。翌年3月引き揚げで帰国。札幌で中学・高校を了て上京。國學院大學を卒業し、久我山高校教諭として、正課柔道と社会科社会担当を経て、栃木学園へ。短期大学の創設に携わり現在に至る。  
平成26年に妻を亡くし1人暮らし。長男夫婦と孫3人と二男夫婦は東京在住。
3. 日々の仕事に楽しく臨み、新たな発見があるような生活をしたいと思う。

### 4. 『昭和天皇実録』 全18冊 東京書籍

出版完結しました。これからゆっくりと、読み進めたいと思っています。

かつてない激動の時代の予感の中、「裕仁」と名づけられた第二百二十四代天皇、明治国家を築いた人々に囲まれ、成長されたお姿が記録され、昭和の大戦を終結に向け、戦後の国民の幸せを常にお考え下さいました。

※他に論語関係の各種の書籍も含む

#### 《理事長先生の補足》

柔道7段・國學院大學理事・本学園の理事長・短期大学学監、学園全体の責任者として益々ご多忙な日々をお過ごしです。しかしいつも幼稚園を温かく見守ってくださる守り神です。

園児とご父母の皆様方、チャンスをとらえて理事長先生との触れ合いを多く持てたらと思います。

## 園長 栗原 和子

1. 辰年 1月25日生まれ
2. 幼児期を満州（中国）で過ごし、高校卒業まで両親の郷里、日本海に面した、山形県酒田市にて、その後東京での生活、昭和40年から現在まで栃木市民になり54年、住み心地満点です。長男夫婦は佐野市在住、孫は10歳の女の子、小学校5年生です。尚、長女夫婦は埼玉県朝霞市に在住し、孫が2人（25歳と22歳の女の子）です。孫達の成長が何よりの楽しみです。

3. 平成 29 年度から認定こども園になり「第 55 回入園式」で、新入児のお子さんとそのご父母の皆さまにお会いできて大変うれしく思います。二杉幼稚園は、國學院大學の建学の精神に則り設立された幼稚園です。「たくましく 直く 明るく さわやかに」このことを全職員で共通理解し、心一つにしてご父母の皆様と手を携え、これからの時代を担っていく立派な日本人として、成長することを願い、日々の保育に専念してまいります。

4. 『センス、オブ、ワンダー』 著者 レイチェルカーソン 訳 上遠 恵子 新潮社  
毎年新学期になるとこの本を読むように心がけています。

レイチェルカーソンは、子ども達にとり「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではないと固く信じていると、述べています。

美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目を見はる感性を育むために子どもと一緒に自然を探求し、発見の喜びに胸をときめかせることが子ども達への一番大切な贈り物になると信じたいです。(レイチェルカーソンより)

「感じる心を忘れずに」が私の信条です。日々の生活の中である時はお子さんと共に、又職場の仲間と感性を磨いていきたいと思ひます。

## 主任教諭 稲葉 幸子

1. 午年 7月6日生まれ
2. 藤岡町赤麻で生まれ、現在は栃木市です。・・・息子は2人です。
3. お子さん達の目の輝きは、好奇心でいっぱいです。何でもやってみようとするお子さんをみて気づく、感じ・考えて行動に移すことが出来るように、お子さんの目線になって生活を送っていきたくと思ひます。また、心から『ありがとう』の思いを伝えることができるよう心掛けていきたく思ひます。宜しくお願ひします。

### 4. 『嬉しかったこと』

職員室の南側にひっそりと咲き誇っているデンドロビューム。コチョウランのように瞬時に視線を惹きつける派手さはなくても、時間をかけて人の心を深くとらえる魅惑的な花。新芽が出てきたのは昨年1月だったでしょうか。日ごとに芽数が増えるたびに、周りの先生達に知らせてきました。そして、咲くのをワクワクしながら待つと、ついに花が一輪咲いた時は嬉しかったです。そして、色もさわやかな薄ピンクがかかっていて何とも愛らしい花。二つの鉢のデンドロビュームが、同時期に今年には花開き、今も(4/20)私を楽しませてくれることに喜びと心がほっこりします。自分を振り返ると、いつ頃からか、教育番組で園芸番組を観ることを心待ちにするようになり、毎週観て注意する事などや、育て方を書き留めたりするようになりました。年になったのかな?!癒される物が見つかったことに喜びながら、少し勉強もしていこうかなと思ひ始めているこの頃です。

## 主任教諭 中山 年江

1. 辰年 12月15日生まれ
2. 大平町で生まれ育ち、現在も大平町に住んでいます。家族は、夫・子どもが3人（29歳・24歳・21歳）と私の5人家族です。長女は、結婚し浦和に、長男は、川崎に住んでいます。次女も大学3年生となり自宅から通い現在は夫、次女、私の3人です！
3. ひとりひとりのお子さんの育ちを見守りながら**《笑顔・挨拶・ありがとうの気持ちを忘れず》**一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。そして、常に「初心忘れるべからず」をモットーに、頑張ります
4. 『感動した出来事』

7月に出産予定の長女が、里帰り出産の検診で、男女の性別を聞こうと思ったら「今日は、脚を組んで、顔を腕で隠してわからなかった」と帰ってきました。娘は「私みたいな男の子・女の子だったら大変だよね」「私、小さい時、お母さんを困らせたから」実は、長女は、両親を困らせるほど元気な子（じゃじゃ馬娘）だったので、「自分に似たらきっと大変かな・・・」と感じているようです。

そして、お腹の子に話しかけたり・美しい物を見たり・綺麗な音楽を聴いたりしているようで、私は、「ウフフ!」と笑ってしまいました。

いつまでも、子どもだと思っていた娘が、【母親になる】という気持ちになっている姿に、たのもしさを感じました。新しい生命の誕生を家族みんなが楽しみしているところです！

## 教諭 小橋 久美子 (ゆり組)

1. 酉年 12月19日生まれ
2. 栃木市に生まれ育ち、大平町に住んでいます。今年1月末に次女夫婦に男児が誕生しました。長男夫婦の子も長女は、3歳7か月、長男は1歳7か月になりました。孫が増えるのは（大変な面もありますが）嬉しいですね(´^`)  
長女も4月に県北の高校から宇都宮に移動になり、私の実家から通勤しています。大学、結婚と一度離れていた子ども達ですが、みんな、近くに帰ってきて、にぎやかな一年になりそうです。
3. 一人ひとりとの出会いから大きな和が出来るように、努めていきたいと思います。また、健康に気をつけ、笑顔を忘れず一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。宜しくお願い致します。
4. 『春ですね』

冬の間枯れてしまったのかと心配をしていた、紫陽花やバラの差し木。また、幼稚園にあるクレマチスやシクラメン。4月中旬から暖かくなり、新芽が出てきた時は、ホッとうれしく思いました。自然の中で強く生き抜く植物達を見ていると、毎日、暑い寒い…と文句ばかり言っている自分が恥ずかしくなっていました。と、同時に雑草も伸び放題(´~;)！手取り邁進で頑張りたいと思います。

## 教諭 渡邊 花枝 (ほし組)

1. 巳年 4月8日生まれ
2. 奥会津で生まれ育ち、高校卒業後、栃木へ来ました。結婚して下野市、栃木市と引っ越しをし、現在は壬生町に住んでいます。家族は、夫、娘の3人です。今は、私の母も一緒に暮らしています。
3. 今年のさくら組さんと一緒に年長組へ。お子さんが期待を持って生活する姿に『さすが！』を感じている毎日です。一人ひとりがこの一年でどのように成長してくれるのかを楽しみに、そして、29人のパワーに負けないよう、共に頑張っていきたいと思えます。

### 4. 『感動した出来事』

先日、年長組で“いちご摘み”に行ってきました。甘そうないちごを見つけて、その場で採って食べる幸せ…そして、口の中に広がる甘さに感動しました。おいしそうなものを摘んで食べても、甘さや酸味が微妙に違い、いろいろな‘とちおとめ’の味を楽しむことができました。そして、子ども達が自分の目で見極め、採って食べる姿にたくましさを感じたのと同時に「お腹いっぱい！」という声を聞いて、摘みたてのいちごで満足そうにしている笑顔から『平和』を感じました。

## 教諭 宮田 貴子 (もも組)

1. 卯年 4月15日生まれ
2. 栃木で生まれ、栃木で育ちました。小さい頃は、とにかくお人形遊びが大好きでリカちゃんハウスがお気に入りでした。家族は、母・夫・3人の子ども達です。  
3人の子供たちも成人しましたが、困ったときなどまだまだ私達親からの精神的な自立ができていない年も多いように感じられ、一喜一憂しています。子育てって本当にずっと続くものなんだなあ実感しているところです。
3. 今年はかわいい年少さん。新たな出会いにワクワクしています。笑顔でお子さんと関わり、良い所をたくさん見つけ、認め、伸ばして行ってあげたいと思います。

### 4. 『感動した出来事』

4月末に長女が結婚しました。小さかった娘がいつの間にか成長し、良き伴侶と巡り合えたことを大変嬉しく思い、感動でいっぱいです。親としては、これからの長い人生を幸せに歩いてほしいと願うばかりです。

## 教諭 手呂内 幸代 (さくら組)

1. 未年 3月7日生まれ
2. 大平町で生まれ、現在は菌部町に住んでいます。最近、少しずつ家事を手伝ってくれるようになった子ども達に助けられ、また、両親の老いを感じながらも手助けしてくる優しさに頼りながら、家族皆で支え合って生活しています。
3. また今年も新しい笑顔に出会えたことに感謝しています。2年間年長組さんを担任させていただいた後の年中さんは、まだ生まれて…と感じるくらい、可愛いです。お子さん達と一緒に、色々な発見や感動体験ができれば良いな…と思います。
4. 『心を動かされた言葉』  
芸能界のことはあまり興味のあることではないのですが、樹木希林さんが亡くなった後は、テレビをつけると色々なことが話題として取り上げられていました。その中で、希林さんの言葉がいくつか紹介されていました。【「人生なんて自分の思い描いた通りにならなくて当たり前」「いつも“人生上出来だわ”と思い、うまくいかない時には“自分が未熟だったのよ”でおしまいにする…】そんないくつかの言葉が、ネガティブになりやすい私の心にスーッと入ってきました。ポジティブな考えが人生を明るく前向きにしてくれる…希林さんの様に自分を冷静に見つめられる様になりたいです。

## 教諭 寺内 美佳 (たんぽぽ② つくし つぼみ)

1. 未年 4月19日生まれ
2. 福島県郡山市で生まれ育ち、結婚を機に栃木市に来ました。家族は夫・長女(中1)・次女(小6)の4人家族です。
3. たんぽぽ、つくし、つぼみの小さな小さなお子さんたちと目線を合わせ、色々な発見や成長を共に喜び・共に楽しみ、感動体験と一緒に味わっていく日々を送りたいと思います。
4. 『感動した出来事』  
3月末に平成24年度卒園生がタイムカプセルを開ける会があり、長女とともに参加しました。6年前の卒園のタイムカプセル。当時の写真、作品や手紙がでてきて、とても懐かしく思いました。娘もそうですが、卒園ぶりであったお友達も、身体も心も見違えるほどに大きくなっていて6年間という月日での成長の大きさを改めて感じました。娘にとっても自分自身にとっても、次の6年間でも大きく成長できるように頑張っていきたいと思います。

## 教諭 中山 佳織 (すみれ組)

1. 酉年 2月18日生まれ
2. 下野市で生まれ育ち、現在も下野市に住んでいます。家族は、父、母、妹の4人家族です。
3. 今年度の抱負は、「やりたいと思ったことはやってみよう」です。一時、テレビCMで流れたWANIMAの「やってみよう」の歌を聴いていると、自分を振り返り、やってみたくも思っているけど勇気がなくて挑戦できなかったことも多々あったことを思い出し、今年はやってみたくも思い立ったらすぐ実行できるようになりたいと思いました。

### 4. 『感動したこと』

3月に母と「クマのプーさん展」に行きました。とても混んでいてゆっくりと隅々まで見ることはできませんでしたが、ディズニーアニメーションとは違う本当の姿のプーさんを知ることが出来ました。印象的だったのが原作の「クマのプーさん」の登場人物の名前でした。ディズニーアニメーションではお馴染みの「ピグレット」「ティガー」が、原作では「コブタ」「トラー」という名前であることに驚き、そのネーミングセンスにくすっと笑ってしまいました。また、原作では、言葉の表現がとても詩的だったり、編集の仕方にも工夫があり、こんなにも「クマのプーさん」は奥が深い児童本であることを知ることが出来ました。

## 教諭 氏田 志保 (たんぼぼ①)

1. 申年 5月23日生まれ
2. 栃木市に生まれ育ちました。現在も栃木市に住んでおり、家族は夫、長男(小5)次男(小3)の4人家族です。
3. 久しぶりにクラスを持たせて頂き、毎日ワクワク★ドキドキ発見の連続です。可愛い可愛い、たんぼぼのお子さんたちの気持ちに寄り添って、笑顔で元気いっぱいの日を過ごしていきたいです。
4. 『あなたはとってもかわいい』

作・絵 みやにし たつや

男の子の赤ちゃんの頃のいろいろな、表情が沢山描かれています。いつもとってもかわいい赤ちゃんの顔。大きくなった今も「変わらずかわいいよ」と思う母親の愛がいっぱいあった絵本です。

私は、大きくなった息子たちに、この本を読むと、いつも「ぎゅっと」抱きしめています。息子たちは照れ臭そうにニヤニヤしていますが、とても嬉しそうです。

皆さんも是非読んでみてください。

## 講師 森田 信子

1. 戌年 9月1日生まれ
2. 3人姉妹の長女として育ち、32年前に足利より栃木へ嫁いで来ました。現在は、夫と3人の娘・息子の5人家族です。そこに愛犬のゆずが加わり毎日散歩をしたり、子ども達の手が離れた分「ゆず」の世話に追われています。
3. 自分の言葉と行ないに責任を持ちたいと思います。
4. 『パパと怒り鬼』一話してごらん誰かに一

作：グローダーレ 絵：スヴァイン・ニーフース ひさかたチャイルド  
子どもの悲しい事件が絶えないこの頃ですが、ノルウェーの子育てから、虐待を失くそう…加害者が変わることが最大の被害者支援になる…そんな内容を描かれた絵本が「パパと怒り鬼」一話してごらん誰かに一

虐待のニュースを耳にするたびに心が痛くなり、どうにか子どもの命を守れないのだろうか…と考えていましたが、実は加害者の中に潜む「鬼」を追い出すことで、虐待もなくなっていくんだ…とこの絵本を通して考えさせられました。ぜひ！一度読んでみてください。

## 講師 沼尾 恭子

1. 戌年 6月3日生まれ
2. 埼玉県川口市出身。現在は栃木市在住。主人、私、次女との3人暮らしです。
3. 年々、健康で暮らす幸の大切さを身に染みて感じています。健康に気を付けて、一日一日を楽しく過ごしていこうと思います。
4. 『感動した映画』

ダンボを観ました。ディズニーアニメのダンボは、何度も観ていますので、実写にすると、「どうなんだろう」と思いながら映画館に行きました。とにかく、CGのダンボが愛らしく可愛くて映像に魅了されました。小さいお子さんには少し難しいかもしれませんが。大人用のダンボの物語になっていて、とてもファンタジーな世界に浸れました。

## 講師 柴田 裕美

1. 巳年 9月30日生まれ
2. 大平町在住・夫・長女（小6）・長男（小4）私の4人家族です。
3. 健康第一。そして何事にもポジティブに！
4. 『佑樹』～家族がつづった物語～ 小学館

ハンカチ王子こと、斎藤佑樹選手のご両親がつづった物語です。一番印象的だった事は「子どもの行うことに熱心に関心を持つ」ということです。

夢は大きく描いて欲しいと願い、それをちょっとだけ、後押しするという事。私もしっかり心に止めておこうと思いました。

## 講師 影山 直恵

1. 未年 10月25日生まれ
2. 東京で生まれ、その後栃木市岩舟町へ引っ越し、結婚して栃木市内で生活しています。家族は夫（単身赴任中）、長男（小5）次男（小2）の4人家族です。
3. 私を含め、家族が健康でいられるように、食生活（食事作り）を見直すと共に、園でのお子さん達と元気いっぱい遊べるように体力作りをしていけたらと考えています。
4. 『感動した出来事』

春休みに長男が低学年のときに使用した教科書、ノートを片付けていました。すると、国語の教科書に「ちいちゃんのかげおくり」という戦争の怖さ、家族の大切さを伝える作品が出てきて、思わず自分の懐かしく子どもと音読しました。もうすぐ平成という時代が終わり令和へとなります。平成の天皇が「平成が戦争のない時代として心から安堵している」というお言葉を思い出しました。もちろん戦争を経験していない私ですが、本当に戦争がないとは、素晴らしいことなんだと改めて感じた出来事でした。

## 講師 赤羽根 真弓

1. 巳年 3月12日生まれ
2. 長野県出身です。現在は母・夫・子ども3人(小6・小4・小2)の6人家族です。
3. 発見や喜び、感動など、様々な思いを大切に感じ取りながら一日一日を笑顔で過ごしていきたいです
4. 『感動した出来事』

子ども達にとって、小学校での学びには、刺激がたくさんあるようです。学校で調理実習をした息子が料理に興味を持ち始めました。先日は朝5時半から「味噌汁は僕が作る！」と言い出し30分以上かけて作り上げていました。危なっかしい包丁使いではありませんが、一人で最後まで作り上げた姿に成長を感じました。忙しい朝に、「学校に間に合う!？」とソワソワしましたが、それ以上に、出来上がったお味噌汁はとてもおいしく、息子の作ってくれた料理でみんなが朝から嬉しい気持ちになれたひと時でした。

## 講師 鈴木 美歩

1. 丑年 4月19日生まれ
2. 栃木市に生まれ育ち、夫・三姉妹（中2・小1・年中）と5人で暮らしています。
3. バタバタした日々を送っていますが、できるだけ心にゆとりを持って、笑顔で楽しく穏やかな気持ちで過ごしていきたいです。
4. 『感動した出来事』

3月末に次女が保育園を卒園しました。昨年度、保育会会長を務めていたので、来賓としてステージ上から正面で見ることが出来ました。いつも行事の時はビデオカメラ越しで撮る事に夢中で見ていますが、卒園式では、子ども達の立派な姿をじっくり見られ感動が増し、終始涙…涙…でした。会長職は大変でしたが、たくさんの貴重な経験をさせて頂いた事に感謝の気持ちでいっぱいです。



## 講師 鈴木 宏子

1. 卯年 11月27日生まれ
2. 栃木市生まれ。結婚後、県内を何回か引っ越したのち、長女の小学校入学を機に栃木市に戻りました。  
家族は夫・娘2人（長女8歳・次女6歳）の4人家族です。
3. 園にはヨチヨチ歩きの小さな子ども達が増えてきました。まだまだ、言葉では気持ちを表現できないもどかしさが伝わってきます。お友達同士、仲良く遊べるように、うまく橋わたしをしたいなと思います。
4. 『感動した映画』  
映画「8年越しの花嫁～奇跡の実話～」を観ました。腫瘍のせいで、身体が麻痺し動かなくなってしまった女性と、彼女を献身的に支え続けた婚約者の実話です。必死のリハビリで回復していく姿に、人間の持つ可能性の素晴らしさを感じました。彼と過ごした日々の記憶を失った彼女ですが、2人の心が再び寄り添っていく様子にも感動しました。

## 講師 灰野 径子

1. 巳年 3月5日生まれ
2. 栃木県小山市生まれ 家族は夫と二人暮らしです
3. 何か1つ新しい事に挑戦し、健康で楽しく過ごしていきたいと思います。
4. 『感動した映画』  
先日観た「グッバイ・クリストファー・ロビン」という映画に切なくも世界中で愛されているプーさんの実話を知りました。作品は、児童小説「くまのプーさん」誕生秘話で、原作者A・A・ミルンとその息子クリストファーロビンの話。幼い心を傷つけながらも親子の交流を通して、最後は和解していく作品です。作品の場面の中でも、森の中で遊ぶ親子の楽しそうな姿やイギリスの景色、衣装は素敵でした。親子の時間の大切さを感じさせられる作品でした。

## 講師 鴫田 里香

1. 酉年 4月30日生まれ
2. 栃木市に生まれ育ち、夫と息子の3人で暮らしています。  
お祭り大好きな家族です。
3. 健康で毎日が楽しく1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。
4. 『感動した出来事』  
つぼみさんと新しく入った子が遊びながらよろけながらも、立っちをして、それから前に1歩2歩と歩き始めました。「凄いね！」と拍手しました。これからの成長を見守りたいですね。つい最近では、ハイハイでママのところや、私のところに寄り添ってきた時には、とても感動しました。

## 講師 戸沢 ちひろ

1. 戌年 3月17日生まれ
2. 栃木市生まれ、栃木市育ち。夫と私・長女（6歳）・次女（4歳）・三女（1歳）の5人家族です。  
お祭り大好きな家族です。
3. 長女は春から新1年生。次女・三女共に進級し、それぞれの新生活。本年もやはり健康第一！！家族の笑顔の絶えない毎日なつたらと願っています。
4. 『おつきさま こんばんは』

林 朋子 さく

娘の3人のファーストブックはこの本でした。三女も1歳にとなり、絵本が嚙んだり、舐めたりするオモチャから「絵を楽しむ」物に変化してきました。この本を読むと一緒に「こんばんは」と深くお辞儀をしたり、雲がお月様を隠すと「やーだ！」と手で払ったり、再び月が顔を出すと拍手をしてみたり。娘がストーリーを理解し、楽しんでいる姿に感激の絵本でした。

## 講師 金沢 菜穂子

1. 兎年 3月23日生まれ
2. 群馬県で生まれ、育ちました。栃木県民になり12年が経ちます。夫・長女（小2）次女（年中）の4人+ペットのヤギがいます。
3. 「時間にゆとりをもって行動する」  
いけないと思いつつ、時間に余裕がないと、我が娘に「早く！！」と言ってしまう私。  
今度からは！！時間にゆとりをもって、心穏やかに日常を送りたいです。
4. 『感動した映画』

春休み中に映画「コーヒーが冷めないうちに」を観ました。コーヒーが冷めるまでの間、戻りたい過去にいけるというファンタジーなのですが、そこに出てくる夫婦姿に胸を打たれました。原作を読んでいたものの、映像も良かったです。続編があるようなので、早速読んでみようと思います。

## 講師 福田 可奈子

1. 酉年 9月22日生まれ
2. 茨城県出身で現在は栃木市に住んでいます。家族は夫・長男（6歳）・次男（3歳）の4人家族です。
3. 新しい環境に身を置くことになりましたので、健康に気を付け、様々なことに目を向け感動する心を忘れずに、一生懸命取り組んでいきたいと思います。
4. 『感動した出来事』、

ヴァイオリニスト高嶋ちさ子さんのコンサートに行ってきました。洗練された音色に、たくみな奏法。そして、その曲、その曲にある背景が目の前に現れてくるかのような素晴らしい表現力に胸がいっぱいでした。

国内外で活躍されている高嶋さんですが、私生活は2人の息子さんの母親でもあります。1日約10時間の練習をし、寝る時もヴァイオリンと一緒にといったストイックな生活をずっとしてこられているようですが、母親になられてからは、息子さんたちとの時間は惜しまずといった姿勢でもあると話されていました。母親でもプロとして、決して妥協をせず、誇りを持たれ、努力を惜しまず仕事に向かう姿、そして、息子さんたちと寄り添い共に歩んでいこうという母の姿としての高嶋さんに、同じ2人の息子を持つ親として、そして女性としての生き方を考えさせられました。

## 講師 坂本 久代

1. 子年 4月24日生まれ
2. 埼玉県春日部市出身。結婚を機に栃木市に来ました。夫・長女（小3）・次女（年長）の4人家族です。
3. 幼稚園でも家庭でも笑顔を忘れずに。  
明るく楽しく（慌てず…）過ごしたいと思います。
4. 『感動した出来事』、

まだまだ小さいと思っていた次女や、次女のクラスのお友達。しかし、年少組のお友達のお世話をしてくれたり、一緒に遊んでくれたりする姿を見て、「立派なお兄さん、お姉さんになったんだなあ」と胸に「じーん」ときました。この1年の成長がまた楽しみです。